



4
20

第72回くじゅう山開き



登山シーズンの到来を祝して万歳三唱が行われました

「第72回くじゅう山開き」が大船山で開催され、県内外から多くの登山者が訪れました。

午前11時頃からの山頂行事では、約350名の登山者全員で万歳三唱を行い、今年の干支「巳」のイラストが描かれた記念ペナントが配布されました。

当日は小雨に見舞われ、山頂からの景色は霧の中に隠れてしまいましたが、皆さん笑顔で登山シーズンの到来を喜び合っていました。

4
26

祝！ 運行開始1周年



1日駅長が出発の合図を行いました

JR九州の観光列車「かんぱち号」が昨年4月の運行開始から1周年を迎え、おもてなし駅の恵良駅で1周年記念イベントが行われました。約16分の停車時間に、特産品の販売や九重あばれ獅子の披露などのおもてなしが行われ、列車から降りてきた乗客を楽しませていました。

出発の時刻になると、1日駅長の合図で別府へ向けて出発して行きました。

5
8

「人権の花」運動



指定書を交付される児童代表の坂本琴巴さん

淮園小学校が令和7年度「人権の花」運動指定校に選ばれ、指定書交付式が行われました。

「人権の花」運動は主に小学生を対象に、花の種子や苗、球根等を育てることによって、命の尊さを実感し、思いやりと感謝の心を育てることを目的としたものです。

河村校長が「学校が笑顔いっぱいになるよう頑張ってくださいましう」と児童らに呼びかけ、時松教育長から児童代表の坂本琴巴さんへ指定書が交付されました。

5
17・18

飯田地区APU学生交流



6班に分かれそれぞれインタビューしました

立命館アジア太平洋大学 (APU) サステナビリティ観光学部 of 学生17名と教授1名が、飯田地区で1泊2日の合宿及び交流を行いました。

17日は6班に分かれ、飯田地区で活動されている6名の方へインタビューを行いました。その内容を手作りのポスターにまとめ、交流会の中で発表しました。

18日は歴史ガイドツアーのほか、九重「夢」大吊橋やキスゲの会による郷土料理、タデ原湿原の自然観察会に参加しました。



5/25 りよくほうさい 緑萌祭開催

このえ緑陽中学校の体育祭「緑萌祭」が開催されました。今年度から開催時期が5月となり、「新緑が萌える季節」に開催されることから従来の体育祭から名称変更されました。今年のテーマは自分たちの心に残り続けるような緑萌祭にしたいという思いから「萌跡^{ほうせき}」となりました。



戸籍に氏名のフリガナを記載する制度が始まりました。

●お問い合わせ 住民環境課 ☎0973-76-3802

これまで、氏名のフリガナは戸籍に記載されていませんでしたが、戸籍法が改正され、戸籍に氏名のフリガナが記載されることになりました。本年5月26日以降、本籍地市町村から、戸籍に記載される予定の氏名のフリガナがハガキや封書で通知されますので、届きましたら、必ず内容を確認してください。九重町が本籍の方への通知の発送は令和7年7月下旬以降を予定しています。

通知のフリガナが正しい場合は、届出をしなくても、令和8年5月以降、通知したフリガナがそのまま戸籍に順次記載されます。通知されたフリガナが誤っている場合には、令和8年5月25日までに必ず届出をしてください。届出は、窓口や郵送による届出のほかに、マイナポータルを利用してオンラインで行うこともできます。

詳しくは、法務省のホームページをご覧ください。



九重町が本籍の方への通知は7月下旬頃から順次発送予定です。通知のフリガナが正しい時は、届出をしなくても通知のとおり戸籍に記載されるから大丈夫！

★戸籍にフリガナが記載されます（法務省のホームページへ）

